

「栗原苔フェスティバル2024」 & 「くりはらマルシェ」を開催しました！

令和6年10月26日(土)・27日(日)に、栗駒山麓ジオパークビジターセンターを会場として、「栗原苔フェスティバル2024」が開催されました。

「栗原苔フェスティバル」は、「くりはらの苔」を県内外へPRするために行われ、苔の魅力を体感できるイベントです。

2日間開催されたイベントでは、苔製品の展示販売やトークショーに加えて、来場者のみなさんに実際に「くりはらの苔」に触れていただくワークショップも行われました。透明な容器の中で苔を育てる「苔テラリウム」づくりや、植物の根を土で丸く包んで苔で覆う「苔玉づくり」などが行われ、参加した人たちが思い思いの形に仕上げながら楽しまれていました。会場では他に、苔クイズや苔ガチャガチャなどもあり、年齢に関係なく大人から子供まで「くりはらの苔」の魅力に触れながら楽しんでいきました。

26日に同時開催された「くりはらマルシェ」では、12店舗の出店があり、栗原地域の多彩で魅力あふれる農林水産物や地場産品が多数販売され、こちらも多くの方にご来場いただきました。また、会場には、栗原市のマスコットキャラクターの「ねじりほんによ」が来場し、イベントを盛り上げてくれていました。

今後も「くりはらの苔」の認知度向上と販路開拓に向けて取り組んでまいります。



(北部地方振興事務所栗原地域事務所 地方振興部 商工・振興班 ☎0228-22-2195)

○河川の堆積土砂撤去や支障木伐採、河川改修等を進めています！

北部土木事務所栗原地域事務所では一級河川北上川水系の43河川（約347km）を管理しており、洪水被害から人命・財産を守るための治水対策を推進しています。今年度は鳥沢川ほか3河川（約2.9km）で堆積した土砂を撤去し、三迫川ほか2河川（約3.5km）で流れを阻害する支障木を伐採したほか、迫川等で河川改修工事を実施しています。今後も計画的に堆積土砂撤去と支障木伐採を進め、河川改修工事を順次実施し、洪水被害の防止・軽減を図ってまいります。

① 堆積土砂撤去
鳥沢川ほか3河川において流れを阻害する土砂を撤去しました。

着工前
完了
(令和6年6月)

鳥沢川(栗原市栗駒鳥沢)

② 支障木伐採
三迫川ほか2河川において流れを阻害する樹木を伐採しました。

着工前
完了
(令和6年8月)

三迫川(栗原市栗駒岩ヶ崎 軽部頭首工付近)

③ 河川改修工事(小山田川)
小山田川において、増水に対して決壊しにくい堤防に改修しました。

着工前
完成
(令和5年3月)

小山田川(栗原市瀬峰)



④ 災害復旧工事
令和4年7月大雨で被災した箇所を復旧しました。

(令和6年3月完成)

二迫川(栗原市栗駒櫻田)護岸工事

⑤ 河川改修工事(迫川)
迫川において堤防の幅を広げています。

(令和6年12月現在)

迫川(栗原市築館下宮野)

⑥ 河川改修工事(荒川)
荒川において堤防のかさ上げを行っています。

(令和6年10月現在)

荒川(栗原市築館菟沢)仮締切堤

〇6次産業化の取組みの推進のため「6次産業化セミナー」を栗原市と共催開催！

令和6年12月3日(火)に、「6次産業化セミナー」を開催しました。6次産業化に取り組む際の留意点、設備投資負担軽減の方策として食品加工の一部受託事例をテーマとして、宮城大学准教授 庄子真樹氏と株式会社二上代表取締役 二上達也氏を講師に、食品加工技術、具体的食品加工紹介を交えた講演、参加者との意見交換を行いました。当日の参加者は14名で、意見交換の場では、参加者からさつまいも、れんこん、落花生、シャインマスカット等の食品加工の相談、加工商品をブラッシュアップするための相談など、参加者と講師が熱心に議論を交わしました。また、「実践に活かそう」「栗原のお土産になる商品開発がしたい」などの感想が寄せられ、実りあるセミナーとなりました。

今後も、栗原地域の産業発展を目指し、栗原市と連携し食産業の振興に関する取り組みを続けてまいります。



(北部地方事務所栗原地域事務所 商工・振興班 ☎0228-22-2195)

<宮城県公式ホームページ>

北部地方振興事務所
栗原地域事務所



北部土木事務所
栗原地域事務所



北部県税事務所
栗原地域事務所



栗原地方ダム
総合事務所



北部保健福祉事務所
栗原地域事務所



<SNS「ございんくりはら」で栗原の魅力を発信中！>



ブログ



Instagram



x



YouTube

フォロー、チャンネル登録よろしくお願いします！